

【黒本】これで完璧！看護国試過去問完全攻略集第116回（2027年実施）対策 取り扱い問題

次の文を読み【問題1】【問題2】【問題3】の問いに答えよ。【第115回午前97～99】

Aさん（60歳、女性、会社員）は15年前に糖尿病と診断され血糖降下薬を服用していた。その後、微量のアルブミン尿が出現し、腎機能は徐々に悪化したため、10年前からインスリン療法が開始された。Aさんは外来受診時に労作時の息切れを訴えており、肺野の水疱音と下肢の浮腫が認められ、精査加療目的で入院した。入院時は、身長155cm、体重65kgで1か月前から5kg増加している。体温36.3℃、呼吸数28/分、脈拍82/分、血圧160/82mmHgであった。血液検査データは、Hb8.5g/dL、HbA1c8.5%、アルブミン3.1g/dL、クレアチニン3.5mg/dL、K4.0mEq/Lで、推算糸球体濾過量（eGFR）は15mL/分/1.73m²であった。

【問題1】Aさんの入院時のアセスメントで適切なのはどれか。

1. 栄養状態は良好である。
2. 高カリウム血症である。
- ③ 肺水腫の危険性がある。
4. 血糖コントロールは良好である。

【問題2】医師はAさんに透析導入の可能性について説明した。Aさんは「週に3回も病院に来るのは無理です。他の患者さんから家でできる腹膜透析もあるって聞いたけど、どういものかしら」と看護師に尋ねた。

Aさんへの腹膜透析に関する説明内容で適切なのはどれか。

1. 入浴はできない。
2. 腸炎の危険性がある。
- ③ 腹腔にカテーテルを挿入する。
4. 心血管系への負担が血液透析より大きい。

【問題3】その後、Aさんには連続携行式腹膜透析法（CAPD）が開始された。同時に腹膜透析の方法と必要な自己管理についての指導が開始となった。現在の血液検査データは、Hb9.0g/dL、アルブミン2.9g/dL、クレアチニン2.5mg/dL、K3.8mEq/Lであった。また腹膜透析開始後の除水量は平均450mL/日、尿量は平均900mL/日であった。

現在のAさんに対する食事指導の内容で適切なのはどれか。

1. 蛋白質は0.2g/kg/日とする。
- ② カリウムを含む食品の制限はない。
3. 水分摂取量は除水量と同量とする。
4. 総エネルギーは50kcal/kg/日とする。

【類題】維持期の持続的携帯型腹膜透析（CAPD）で正しいのはどれか。【第93回午前95】

1. 透析回数は週に2、3回行う。
- ② 血液透析よりも食事制限は少ない。
3. 心血管系への負担が血液透析より大きい。
4. 終了後はカテーテルを抜去する。

アンケートへのご協力をお願いいたします。
さわ研究所ホームページトップ画面にある「アンケート」ボタン、もしくはこちらのQRコードよりご回答ください。



問題の解答はこちらからご確認いただけます。



さわ研究所と一緒に合格を勝ち取ろう！
応援しています！

